

## 福祉施設

震災直後 24 時間フル稼働した BDF 精製  
必要性の認知拡大へ

盛岡市

菊地 満 社会福祉法人 自立更生会 盛岡アビリティセンター

取材日 2011.9.12

障がい者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、事業所通所により生産活動等を通じて訓練を行い、一般就労に向けて支援を行なっている。主な事業は部品組立作業、電気製品備品検査、農事事業、そしてBDF精製作業。ものづくりの原点に立ち戻り、機能訓練にも役立つことから蜜蝋キャンドル作りにも取り組む。

## 3月11日 14時46分

岩手大学にいて、「東北桑ベルト」の会議中に起きた。周囲で携帯電話の緊急地震速報を伝える音が鳴り響き、研究室の女子学生の悲鳴が聞こえてきた。揺れは、大きく長く感じた。おさまった後も大きな余震が続き、これは一大事だと感じた。電気も消えた。会議は途中で終了して急いで外に逃げた。その頃は雪が降り寒かったので、車のワイパーを凍結防止の為に立てていた車が多かったが、それがすべて倒れていた。ひとまず勤務先の施設に戻った。信号機は消えていた。自宅に戻ると、妻と子どもは屋外に避難していた。家の中はサイドボードが倒れ、足の踏み場がないほどの状況だった。水とガスは止まる事はなかった。自宅には反射式のストーブもあり、普段から電池、水、カップラーメン、パックご飯等を備蓄していたので、それ程困ることはなかった。ガスが使えたので、風呂も大きな鍋で沸かして利用した。電気が回復したのは震災から3日目のお昼頃だった。テレビで流れる映像はまるで映画のワンシーンを見ているかのように感じた。

## 震災直後 BDF (バイオディーゼル燃料) 精製施設 24 時間フル稼働

盛岡アビリティセンターでは、岩手生協からの委託でBDF精製をしている。震災直後はガソリンや軽油が不足し、支援物資を宮古、大槌の店舗に運べなくなっていたので注文が殺到した。いわて生協では燃料が入手できない緊急時に、自前で精製できることが不可欠との判断がされた。急遽いわて生協内でチームが編成され、盛岡アビリティセンターではBDF燃料の精製レクチャーのためにスタッフを派遣した。そうしてBDF燃料を精製するために、いわて生協の精製施設を24時間フル稼働させる体制を作り上げたが、実際には8時間の稼働しかなかった。結果、被災地での移動販売や炊き出しのためのトラックを走らせることができ、多くの支援者が燃



料問題で頭を悩ませる中、大きな力を発揮することができた。これだけBDF燃料が必要とされたことはなかったように思う。

震災をきっかけにBDFの  
必要性の認知へ

深刻な燃料不足に陥ったことで、BDF燃料を知らなかった人達にもその必要性を認知してもらう事へつながった。これまで精製に携わってきた人間として、多くの人々に頼られたことをとても嬉しく感じている。今後、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減だけでなく、ガソリンなど化石燃料不足への対応、福祉施設などへの精製委託による経済効果も期待できると思う。これからも更に多くの人達にBDF燃料を理解してもらいたい。

— ONLY ONE EARTH —  
生まれてくる次世代の子どもたちに  
きれいな地球を残そう

被災地の状況を受け入れることを、最初はできなかった。嘘であって欲しいと思った。バイオ燃料を作る時に必要なメタノールが足りなくなり、原料が値上がりしたことも大変だった。自分達が必要と感じてやってきた事が、本当に必

要とされ、頼ってもらえたこと、地域との触れあいの場が増えたことなど、今までBDFの精製作業に携わってきて本当によかったと思う。環境首都を目指す岩手のBDF事業の潜在能力は高いと感じている。知らない人がまだまだ多いけれども、普段から取り組んでいた事が間違いではなかったのだと今回の災害で証明されたような気がする。今まで行ってきた取り組みをもっとたくさんの方に理解してもらえるよう、今後も変わらないスタンスで取り組んでいきたい。福祉施設の利用者の方が、地球人として地域と交わり、自信と誇りをもって生き生きと成長してい

く姿にはしっかりと手応えを感じている。社会の役に立っている、貢献していると感じてくれたことも嬉しく思っている。

震災によってモノの有難さを特に感じた。食料、ガソリンなどが不足し、盛岡市内のスーパーでは商品の買占めが起きていたが、沿岸部ではみんなで協力しあいながら避難生活をしていた。地域の違いによる温度差を感じた。改めて、今まで不自由なく暮らしてきた事、今までの暮らしを見つめ直さなければいけない時期にきているのかと感じている。



盛岡アビリティセンター利用者 農作物収穫作業



菜の花一般公開にてBDF燃料で走るエコカー展示



撮影：2011.11.24 陸前高田市消防団の車



撮影：2011.4.12 給水に並ぶ人々